



豊田中学校 学校だより

豊田の里

平成 29 年 5 月 24 日

第 3 号

発行 豊田中学校

多くの力を借りて ～我以外皆我師～

H29 年 5 月 朝礼

先月 28 日に授業参観会がありましたね。その後、保護者の皆さんには、PTA 総会、学級懇談会と参加していただき、本年度の豊田中学校の方針等を理解していただきました。私も、PTA 総会で保護者の皆さんに、「本年度、力を入れたいこと」について話しました。でも、学校の主役は、ここにいる生徒の皆さんなので、そこで話したお話をしたいと思います。



本年度の学校教育目標は、昨年度を引き継ぎ、「こころざしをもち、たくましく生き抜く生徒の育成」です。これは入学式・始業式でもお話し、先日の志タイムのガイダンスでも國永先生が小テストを行ってくれたので、よくわかっていると思います。

お話ししたのは、この目標達成のために、学校は、大いに学校外の力を借りようと考えているとお話ししました。これからの学校は、「地域とともにあり、ともに歩み、ともにつくっていく学校」だと考えているからです。

そこで、一番の頼りは、地域や保護者の皆さんの力です。昨年度、多くの保護者・地域の皆さんに「豊中サポーター」に登録していただき、力になっていただきました。本年度はさらに力を貸していただきたいお願いしました。

さらに、他の様々な団体からの支援の約束をいただいています。

一つは、文部科学省からの教育課程研究の指定を受け、直接、本校の教育を支援していただくことになりました。その内容は ESD といって、「持続可能な社会の担い手を育む教育」の推進です。「持続可能」はちょっと難しいかもしれませんが、「社会の担い手」は本校の「こころざしをもち」と同じ意味だと思っています。昨年度 12 月の朝礼でお話した SDG's と関連しています。1 年生は聞いていないからわかりませんが、これから学習していくので安心してください。

二つ目は、資源エネルギー庁から「エネルギー教育モデル校」の指定をいただいています。これは昨年度から支援していただいている、エネルギーや環境の視点から、教科や総合的な学習の時間の中で学習していきます。SDG's の中でもエネルギーの視点があるので、ESD との関連もあります。

三つ目は、スポーツ庁から「オリンピック・パラリンピック教育実施校」の認定をいただきました。オリンピック・パラリンピックは、他の世界大会等、競い合うだけの大会と違い、「卓越、友情、敬



意、尊重」「勇気、決断力、平等、鼓舞」といった生き方としての理念を伴った大会です。SDG'sの中にも友情、平等等の視点があるので、ESDとの関連もあります。だからこそ、世界中の人々が注目するとともに、選手として応援するものとして参加・交流するといった貴重な機会となっています。2020年に東京で開催される、この機会は絶好の学びの機会だととらえ、支援をうけながら教育活動の中に取り入れていきたいと考えています。オリンピックが生きているうちに気軽に見に行ける距離のところで行われるのは本当に貴重です。

その他にも、多くの力を借りたいと考えています。

小説「宮本武蔵」で有名な作家の吉川英治氏の言葉で、「我以外皆我師（われいがいみなわがし）」があります。学校は、多くの人たちの力を借りて、様々な学びの場を工夫していきます。皆さんには、皆さんの学びを支援してくれる多くの方をすべて師、つまり先生だと思って学んでほしいと願っています。

校長 倉島茂見

*** ** 表彰式がありました *** **

○女子ソフトテニス部

・磐田中学生選手権ソフトテニス大会

個人戦 酒井菜穂、加藤里菜 第1位
吉田蒼空、飯田由利恵 4位
植田莉帆、鳥山璃々香 7位

・ツルヤカップソフトテニス大会

団体戦 第1位

植田莉帆、加藤里菜、飯田由利恵
鳥山璃々香、酒井菜穂、吉田蒼空
永井絵美子、大石弥南

○磐田市花いっぱいコンクール

磐田市立豊田中学校 審査員特別賞
磐田市緑化推進委員会



校長先生からは「あいさつ」の話もありました。誰かのあいさつを待ってあいさつしようというのは、主体的とは言えません。自分から率先してあいさつができることが大切です。